

成人した先天性心疾患患者の管理における心機能・運動耐容能及び神経体液性因子の意義	武田裕	循環器・心療内科	160万円	補 文部科学省委
立位負荷テストによる腎予備能検査を確立する	福田道雄	循環器・心療内科	80万円	補 文部科学省委
アンジオテンシン受容体拮抗薬と利尿薬及びカルシウム拮抗薬の併用療法についての検討	本川正浩	循環器・心療内科	30万円	補 文部科学省委
膝癌におけるシグナル伝達からの神経浸潤機構の解明と治療への応用	高橋 広城	消化器外科	170万円	補 文部科学省委
進行直腸癌における細胞接着分子を標的とした転移・浸潤機構の解明と制御	佐藤 幹則	消化器外科	160万円	補 文部科学省委
RNAi ランゲムクリニン法を用いた p53 誘導新規アポトシ関連因子の検索	羽田裕司	外科 (腫瘍・免疫外科学)	150万円	補 文部科学省委
胸腺腫に対するステロイドパルス療法のメカニズムの解析	小林昌玄	外科 (腫瘍・免疫外科学)	130万円	補 文部科学省委
癌腫に対するエンドスタチン療法の効果増強のために：鍵となる血管新生促進因子の解析	矢野智紀	外科 (腫瘍・免疫外科学)	90万円	補 文部科学省委
非小細胞性肺癌における上皮成長因子受容体遺伝子異常解析を用いたオグニド治療	藤井義敬	外科 (腫瘍・免疫外科学)	450万円	補 文部科学省委
ジェタ化による肺癌における抑癌性遺伝子変異に関する研究	佐々木秀文	外科 (腫瘍・免疫外科学)	240万円	補 文部科学省委
神経芽腫に対する PPAR α 阻害剤投与による腫瘍縮小効果の検討	佐藤陽子	外科 (腫瘍・免疫外科学)	210万円	補 文部科学省委

食道癌における高発現遺伝子抑制：創薬ターゲット遺伝子の同定	石黒秀行	外科 (腫瘍・免疫外科学)	240万円	補 文部科学省委
胸腺の POSITIVE SELECTION におけるメカニズムの解明	鈴木恵理子	外科 (腫瘍・免疫外科学)	180万円	補 文部科学省委
食道癌における microRNA 関連遺伝子の分子生物学的機序	杉戸伸好	外科 (腫瘍・免疫外科学)	200万円	補 文部科学省委
非小細胞性肺癌における erbB2 遺伝子異常解析とその遺伝子異常についての機能解析	遠藤克彦	外科 (腫瘍・免疫外科学)	210万円	補 文部科学省委
肺癌における erbB ファミリー遺伝子変異と関連因子発現に関する研究	佐々木秀文	外科 (腫瘍・免疫外科学)	890万円	補 文部科学省委
マイクロアレイを用いた食道癌におけるマイクロRNA研究	桑原義之	外科 (腫瘍・免疫外科学)	290万円	補 文部科学省委
重症筋無力症の外科治療	藤井義敬	外科 (腫瘍・免疫外科学)	90万円	補 厚生労働省委
関節リウマチにおける血管新生とグリオスタチンの分子機構	永谷祐子	整形外科	130万円	補 文部科学省委
脊髄性疼痛抑制系におけるジペプチジルペプチダーゼ III とインヒビターの相互作用	福岡宗良	整形外科	150万円	補 文部科学省委
妊娠高血圧症候群予防・治療にむけての妊婦の適切な栄養管理に関する総合的研究	鈴木佳克	産科 婦人科	180万円	補 文部科学省委
妊娠高血圧症候群の血管内皮機能障害に対する葉酸の改善効果の基礎的研究	山本珠生	産科 婦人科	200万円	補 文部科学省委

中高年婦人の更年期症状に対する漢方薬の有用性に関する研究	鈴木佳克	産科 婦人科	30万円	補 東海医学研究財団 委
早産児における脳室周囲白室軟化症の早期診断法の開発	戸蒔 創	小児科	180万円	補 文部科学省 委
新生児における大脳基底核病変の病態解明と治療法および予防法の確立	福田純男	小児科	40万円	補 文部科学省 委
乳幼児突然死症候群(SIDS)の発症因子と覚醒反応発現に関する研究	加藤稲子	小児科	80万円	補 文部科学省 委
CMV胎内感染におけるCMV DNA量及び遺伝子型と乳幼児期に病態に関する研究	後藤健之	小児科	60万円	補 文部科学省 委
脳室周囲白室軟化症実験モデルに対するエリスロポイエチンの有用性と細胞移植の検討	水野恵介	小児科	260万円	補 文部科学省 委
新生児虚血性脳症とサイトカインおよびサイトカイン遺伝子多型との関連	藤本伸治	小児科	130万円	補 文部科学省 委
乳幼児突然死症候群(SIDS)における科学的根拠に基づいた病態解明および臨床対応と予防法の開発に関する研究	戸蒔 創	小児科	588万円	補 厚生労働科学研究費補 助金 委
siRNA含有ナノスフェアによる網膜血管内皮細胞の遺伝子発現制御	小椋 祐一郎	眼科	130万円	補 文部科学省 委
加齢黄斑変性に対する血管内皮増殖因子を標的としたドラッグデリバリーシステムの開発	小椋 祐一郎	眼科	560万円	補 独立行政法人 日本学術振興会 委
網膜微小循環障害での白血球動態異常の分子メカニズムの解明-腫瘍壊死因子 α の意義-	吉田 宗徳	眼科	90万円	補 独立行政法人 日本学術振興会 委

siRNA を用いた血管内皮接着分子抑制による脈絡膜新生血管の治療の開発	櫻井 英二	眼科	100 万円	補 文部科学省委
加齢黄斑変性の新しい治療評価系としての家兔眼実験モデルの開発	安川 力	眼科	130 万円	補 独立行政法人 日本学術振興会 委
HMG-CoA 還元酵素阻害剤の脈絡膜新生血管抑制機序の解明	山田 潔	眼科	110 万円	補 文部科学省委
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	小椋 祐一郎	眼科	200 万円	補 厚生労働省委
Bell 麻痺、Hunt 症候群の早期診断と病因・病態・治療に関する基礎・臨床的研究	村上 信五	耳鼻 いんこう 科	200 万円	補 文部科学省委
嗅覚障害での嗅上皮再生における研究	濱島 有喜	耳鼻 いんこう 科	120 万円	補 文部科学省委
環境因子と遺伝因子からみた尿路結石形成機序の解明と再発リスク診断法・治療薬の開発	郡 健二郎	泌尿器科	1500 万円	補 文部科学省委
生殖細胞の発生・分化に関わる遺伝子の同定およびその機能解析	林 祐太郎	泌尿器科	180 万円	補 文部科学省委
精子における遺伝子機能解析と新しい不妊診断・治療法への臨床応用	郡 健二郎	泌尿器科	190 万円	補 文部科学省委
遺伝子導入を用いた精子形成の試みと男子不妊症臨床応用に向けた基礎的研究	小島 祥敬	泌尿器科	450 万円	補 文部科学省委
尿路結石のオステオポンチン-塩基多型(SNP)の機能解析と遺伝診断法の開発	安井 孝周	泌尿器科	250 万円	補 文部科学省委
尿路結石の形成に係わるゲノム解析と抗酸化抑制作用	伊藤 恭典	泌尿器科	260 万円	補 文部科学省委
遺伝子導入した ES 細胞を用いた尿路組織構成細胞の誘導と尿路再建の可能性	丸山 哲史	泌尿器科	120 万円	補 文部科学省委

男子不妊症の病態解明と転写因子DAX-1を用いた男子不妊症に対する遺伝子治療	池内 隆人	泌尿器科	100万円	補 文部科学省委
正常および過活動膀胱におけるc-kit陽性間質細胞機能の研究	窪田 泰江	泌尿器科	120万円	補 文部科学省委
遺伝子導入を用いた精子形成の試みと男子不妊症臨床応用に向けた基礎的研究	小島 祥敬	泌尿器科	200万円	補 上原記念生命科学財団 委
精神療法の実施と有効性に関する研究	古川壽亮	精神科	400万円	補 厚生労働省委
統合失調症治療のガイドラインの作成とその検証に関する研究	古川壽亮	精神科	45万円	補 (国立精神・神経センター 精神神経疾患研究委託 費) 委
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	古川壽亮	精神科	110万円	補 (国立精神・神経センター 精神神経疾患研究委託 費) 委
治療抵抗性うつ病に対する認知行動分析システム精神療法とその品質管理体制の開発研究	古川壽亮	精神科	90万円	補 文部科学省委
がん患者の精神症状に対する心理社会的介入法の開発	明智龍男	精神科	300万円	補 厚生労働省委
せん妄の早期発見、早期治療のための医療スタッフ向け教育プログラムの開発	明智龍男	精神科	100万円	補 文部科学省委
主治医による、がん患者の支持的ケアニーズについての認識に関する研究	奥山 徹	精神科	180万円	補 日本学術振興会科学研究 費補助金(若手研究 (B)) 委
遺伝子解析による腫瘍と正常組織の放射線感受性の評価の研究	芝本雄太	放射線科	110万円	補 文部科学省委

放射線照射患者を対象とした遺伝子多型解析による有害事象予測に関する研究	芝本雄太	放射線科	105万円	補 独立行政法人放射線医学総合研究所 委
血管内皮前駆細胞移植による脳毛細血管再生と遺伝子治療への応用	竹内 昭憲	麻酔科 (麻酔危機管理医学分野)	60万円	補 文部科学省委
ニューロカインによる末梢侵害受容機構の修飾	杉浦 健之	麻酔科 (麻酔危機管理医学分野)	200万円	補 文部科学省委
水チャネル・アクアポリンを標的とした新規脳浮腫治療薬の開発	山内 浩揮	麻酔科 (麻酔危機管理医学分野)	130万円	補 文部科学省委
アシデミアが蘇生後脳症における脳浮腫に与える影響-水チャネルの昨日に注目して	森島 徹朗	麻酔科 (麻酔危機管理医学分野)	130万円	補 文部科学省委
新しい脳水分測定法の開発と基礎的応用-水チャネルに着目した新脳浮腫治療法の開発-	平手 博之	麻酔科 (麻酔危機管理医学分野)	130万円	補 文部科学省委
細胞障害に対する水チャネル<アクアポリン>の保護的作用と新しい脳浮腫治療への応用	安藤 雅樹	麻酔科 (麻酔危機管理医学分野)	120万円	補 文部科学省委
水チャネル<アクアポリン>を標的とした新しい脳浮腫治療法の開発	祖父江 和哉	麻酔科 (麻酔危機管理医学分野)	190万円	補 文部科学省委
RNAi を用いた軽度低温の脳浮腫抑制効果に果たす水チャネル機能の解析	藤田 義人	麻酔科 (麻酔危機管理医学分野)	130万円	補 文部科学省委
オリゴデンドロサイトのシグナル伝達を指標とした損傷軸索再生の試み	山田和雄	脳神経外科	510万円	補 文部科学省委
アクアポリン1発現を指標とした水頭症の成因についての検討	間瀬光人	脳神経外科	170万円	補 文部科学省委
新規のコラーゲンゲル内培養法を利用した神経膠腫細胞浸潤の解析	谷川元紀	脳神経外科	110万円	補 文部科学省委

びまん性軸索損傷モデルによるMSP遺伝子および蛋白発現についての分子生物学解析	岡 雄一	脳神経外科	80万円	補 文部科学省委
内頸動脈閉塞症にともなう血行力学的脳梗塞の発症予防に関する研究	山田和雄	脳神経外科	50万円	補 厚生労働省委
高次脳障害者に対する地域支援ネットワークの構築に関する研究	山田和雄	脳神経外科	300万円	補 厚生労働省委
肝炎ウイルスデータベース	溝上 雅史	中央臨床検査部 (臨床分子情報医学)	600万円	補 日本学術振興会委
アフリカにおける肝炎ウイルスの分子疫学的・分子生物学的検討	溝上 雅史	中央臨床検査部 (臨床分子情報医学)	250万円	補 日本学術振興会委
B型肝炎ウイルスコアプロモーター領域の変異と発癌メカニズムの解明	田中 靖人	中央臨床検査部 (臨床分子情報医学)	260万円	補 日本学術振興会委
E型肝炎の感染経路・宿主域・遺伝的多様性・感染防止・診断・治療に関する研究	溝上 雅史	中央臨床検査部 (臨床分子情報医学)	100万円	補 厚生労働省委
主にアジアに蔓延するウイルス性肝疾患の制御に資する為の日米合作的肝炎ウイルス基礎研究	溝上 雅史	中央臨床検査部 (臨床分子情報医学)	100万円	補 厚生労働省委
B型及びC型肝炎の疫学及び検診を含む肝炎対策に関する研究	溝上 雅史	中央臨床検査部 (臨床分子情報医学)	200万円	補 厚生労働省委
C型肝炎ウイルス等の母子感染に関する研究	溝上 雅史	中央臨床検査部 (臨床分子情報医学)	130万円	補 厚生労働省委

合計 99 件

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Histopathology. (発行2006年12月 日)	Mutations and nuclear accumulation of beta-catenin correlate with intestinal phenotypic expression in human gastric cancer.	Ogasawara N, et al	消化器内科
J Gastroenterol. (発行2006年11月 日)	Bone morphogenetic protein 2 induced differentiation toward superficial epithelial cells in the gastric mucosa.	Itoh K, et al	消化器内科
Dig Endosc. (発行2006年4月 日)	Peutz-Jeghers syndrome associated with renal and gastric cancer that demonstrated an <i>STK11</i> missense mutation.	Kataoka H, et al	消化器内科
Cancer Sci 2007;97(3):192-198. (発行2007年3月1日)	Pulmonary-renal syndrome in systemic sclerosis: a report of three cases and review of the literature.	小栗鉄也	呼吸器内科
Oncogene 2007;25(2):271-277. (発行2007年1月12日)	Altered regulation of c-jun and its involvement in anchorage-independent growth of human lung cancers	前野健	呼吸器内科
Mol cancer Ther 2007;6(1):122-12 (発行2007年1月1日)	MRP8/ABCC11 directly confers resistance to 5-fluorouracil	小栗鉄也	呼吸器内科
Cancer Research (発行18年 月 日)	Specific recruitment of CC chemokine receptor 4-positive regulatory T cells in Hodgkin lymphoma fosters immune privilege.	石田高司	血液・膠原病内科
Leukemia (発行18年 月 日)	Induction of cell death in adult T-cell leukemia cells by a novel I·B kinase inhibitor	三田貴臣	血液・膠原病内科
Int J Cancer (発行18年 月 日)	Clinical significance of serum Th1-, Th2- and regulatory T cells-associated cytokines in adult T-cell leukemia/lymphoma: High interleukin-5 and -10 levels are significant unfavorable prognostic factors.	稲垣淳	血液・膠原病内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Leukemia (発行18年 月 日)	The CCR4 as a novel specific molecular target for immunotherapy in Hodgkin lymphoma	石田高司	血液・ 膠原病 内科
Int J Cancer (発行19年 月 日)	Regulatory T-cell function of adult T-cell leukemia/lymphoma cells	矢野寛樹	血液・ 膠原病 内科
Haematologica (発行19年 月 日)	Induction of class II major histocompatibility complex expression in multiple myeloma cells by a selective retinoid Am80 (Tamibarotene)	三田貴臣	血液・ 膠原病 内科
Mod Rheumatol. 2007;17(1):37-44. (発行2007年2月20日)	Pulmonary-renal syndrome in systemic sclerosis: a report of three cases and review of the literature.	Naniwa T, et al	血液・ 膠原病 内科
Gastrointest Endosc, 65: 99-108, 2007. (発行19年1月)	Difficulty in diagnosing autoimmune pancreatitis by imaging findings.	Nakazawa T	肝・ 膵臓 内科
Pancreas, 32: 115-117, 2006. (発行18年10月)	Histopathologic similarities of inflammatory pseudotumor to autoimmune pancreatitis. A morphologic and immunohistochemical study of four cases.	Ohara H	肝・ 膵臓 内科
Pancreas, 32: 229, 2006. (発行18年10月)	Schematic classification of sclerosing cholangitis with autoimmune pancreatitis by cholangiography.	Nakazawa T	肝・ 膵臓 内科
日本消化器病学会雑誌, 103: 405-414, 2006. (発行18年4月)	切除不能悪性胃幽門部・十二指腸狭窄における Covered self-expandable metallic stent の有用性.	林 香月	肝・ 膵臓 内科
膵臓, 21: 89-94, 2006. (発行18年4月)	膵管ステントを契機に膵嚢胞感染を発症した慢性膵炎の1例.	小林真哉	肝・ 膵臓 内科
日本肝臓学会誌, 47: 474-481, 2006. (発行18年10月)	胃粘膜下腫瘍と鑑別が困難であった肝硬化性血管腫の1例	林 香月	肝・ 膵臓 内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gastroenterol Endosc, 48:2495-2499, 2006. (発行18年10月)	石灰乳胆汁が総胆管に流出し閉塞性黄疸をきたしたため内視鏡的乳頭括約筋切開術を施行した1例	林 香月	肝・ 膵臓 内科
Gastroenterol Endosc, 48:2656-2661, 2006. (発行18年11月)	大腸内視鏡下の瘻孔縫縮術により閉鎖した胆嚢結腸瘻の1例	林 香月	肝・ 膵臓 内科
膵臓, 21:378-380, 2006. (発行18年12月)	自己免疫性膵炎の膵外合併症	大原弘隆	肝・ 膵臓 内科
Hepatology. 2006 Oct;44(4):915-24. (発行 年 月 日)	Influence of hepatitis B virus genotypes on the intra- and extracellular expression of viral DNA and antigens.	Sugiyama M	肝・ 膵臓 内科
Hepatol Res. 2006 Dec;36(4):272-276. Epub 2006 Sep 12. (発行 年 月 日)	Measurement of hepatitis B virus core-related antigen as predicting factor for relapse after cessation of lamivudine therapy for chronic hepatitis B virus infection.	Shinkai N	肝・ 膵臓 内科
Hepatol Res. 2006 Oct;36(2):107-114. Epub 2006 Sep 7. (発行 年 月 日)	Spatial and chronological differences in hepatitis B virus genotypes from patients with acute hepatitis B in Japan.	Sugauchi F	肝・ 膵臓 内科
J Gen Virol. 2006 Jul;87(Pt 7):1873-82. (発行 年 月 日)	Novel subtypes (subgenotypes) of hepatitis B virus genotypes B and C among chronic liver disease patients in the Philippines.	Sakamoto T	肝・ 膵臓 内科
Hepatol Res. 2006 Jun;35(2):127-34. Epub 2006 Apr 19. (発行 年 月 日)	A case-control study of response to lamivudine therapy for 2 years in Japanese and Chinese patients chronically infected with hepatitis B virus of genotypes Bj, Ba and C.	Orito E	肝・ 膵臓 内科
Cell Transplantation 2006, 15(3)	Behavioral and Histological Characterization of Intrahippocampal Grafts of Human Bone Marrow-Derived Multipotent Progenitor Cells in Neonatal Rats With Hypoxic-Ischemic Injury.	Matsukawa N	神経 内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neuroscience Res. 2006, Oct; 56(2)	Dietary supplementation of arachidonic and docosahexaenoic acids improves cognitive dysfunction: A preliminary report.	Matsukawa N	神経内科
J Neurosci. 2006 Nov 29;26(48)	Transplantation of human neural stem cells exerts neuroprotection in a rat model of Parkinson's disease.	Matsukawa N	神経内科
J Neurosci. 2007 Feb 14;27(7)	Early Changes In KCC2 Phosphorylation In Response To Neuronal Stress Results In Functional Downregulation.	Wake H	神経内科
Nephrol Dial Transplant. (発行 2006 年 月 日)	Polynocturia in chronic kidney disease is related to natriuresis rather than to water diuresis	Michio Fukuda	循環器・心療内科
Medical Hypothesis (発行 2006 年 月 日)	Hypothesis on renal mechanism of non-dipper pattern of circadian blood pressure rhythm.	Michio Fukuda	循環器・心療内科
Dig Surg (発行 2006 年 4 月)	A new method for constructing an ileal J pouch without an enterotomy.	Takeyama H	消化器外科
Hepatogastroenterology (発行 2006 年 5-6 月)	Surgical treatment for relief of severe pain with chronic pancreatitis that is resistant to conservative treatment.	Sawai H	消化器外科
Oncogene (発行 2006 年 6 月)	Integrin-linked kinase activity is associated with interleukin-1 α -induced progressive behavior of pancreatic cancer and poor patient survival.	Sawai H	消化器外科
Dig Dis Sci (発行 2006 年 7 月)	Combined gemcitabine and α -interferon therapy for pancreatic cancer: report of a case.	Sawai H	消化器外科
Surg Today (発行 2006 年 9 月)	Limiting vein puncture to three needle passes in subclavian vein catheterization by the infraclavicular approach.	Takeyama H	消化器外科
BMC Gastroenterol (発行 2006 年 9 月)	Reactive lymphoid hyperplasia of the liver in a patient with colon cancer: report of two cases.	Takahashi H	消化器外科
Dig Surg (発行 2006 年 4 月)	A new method for constructing an ileal J pouch without an enterotomy.	Takeyama H	消化器外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属 部門
消化器疾患-state of arts I 消化管 (食道・胃・腸) (発行 2006 年 4 月)	【消化器疾患 State of arts 消化管 (食道・胃・腸) 治療法をめぐる最近の 進歩 栄養管理 在宅栄養療法	廣川高久	消化器 外科
肝胆膵治療研究会誌 (発行 2006 年 8 月)	仮性動脈瘤による仮性膵嚢胞内出血の 1 例—症例報告と仮性膵嚢胞手術症例の検 討—	松尾洋一	消化器 外科
Hepatogastroenterology (発行 2006 年 9-10 月)	Clinicopathologic study of intraductal papillary-mucinous tumors and mucinous cystic tumors of the pancreas.	Tanaka M	消化器 外科
Med Sci Monit (発行 2006 年 10 月)	Malignant solitary fibrous tumor originating from the peritoneum and review of the literature.	Tanaka M	消化器 外科
Mol Cancer (発行 2006 年 10 月)	The stem cell factor/ <i>c-kit</i> receptor pathway enhances proliferation and invasion of pancreatic cancer cells.	Yasuda A	消化器 外科
Anticancer Res (発行 2006 年 11-12 月)	Treatment for peritoneal carcinomatosis using carboplatin-loaded hydroxyapatite particles.	Takeyama H	消化器 外科
日本内視鏡外科学会雑誌 (発行 2006 年 12 月)	腹腔鏡下に切除し得た異物穿通による大 網炎症性腫瘍の 1 例	高橋広城	消化器 外科
よくわかって役に立つ 最新栄養予防・治療学 (発行 2007 年 1 月)	栄養補給法 A 投与ルート選択のアルゴリ ズム—A. S. P. E. N. のガイドラインに準じ て	坂本雅樹	消化器 外科
日本消化器外科学会雑誌 (発行 2007 年 2 月)	大腿ヘルニア嵌頓を契機に発症したと思 われる腹部食道破裂の 1 例	廣川高久	消化器 外科
日本消化器外科学会雑誌 (発行 2007 年 3 月)	大腸癌に合併した肝 reactive lymphoid hyperplasia の 1 例	高橋広城	消化器 外科
分子消化器病 (発行 2007 年 3 月)	【消化器癌浸潤・転移における間質・血 管新生を探る】膵癌転移における接着分 子の役割を探る	沢井博純	消化器 外科
Int J Cancer, 118(1):180-184, 2006 (発行 年 月 日)	EGFR and erbB2 mutation status in Japanese lung cancer patients	Sasaki H	外科 (腫瘍 ・免疫 外科学)
Lung Cancer, 51(1):135-136, 2006 (発 行 年 月 日)	EGFR mutation status and prognosis for gefitinib treatment in Japanese lung cancer	Sasaki H	外科 (腫瘍 ・免疫 外科学)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ann Thorac Surg, 81(1):366-368, 2006 (発行年月日)	ACTH secreting thymic carcinoid associated with multiple endocrine neoplasia type 1	Yano M	外科 (腫瘍・免疫外科学)
Breast Cancer, 13(1):74-83, 2006 (発行年月日)	Immunohistochemical evaluation of hormone receptor status for predicting response to endocrine therapy in metastatic breast cancer	Yamashita H	外科 (腫瘍・免疫外科学)
肺癌, 45(7):817-821, 2006(発行年月日)	異時性多発肺癌における第二肺癌切除術の検討	矢野智紀	外科 (腫瘍・免疫外科学)
Jpn J Clin Oncol, 36(2):69-75, 2006 (発行年月日)	A correlation between EGFR gene mutation status and bronchioloalveolar carcinoma features in Japanese patients with adenocarcinoma	Haneda H	外科 (腫瘍・免疫外科学)
Surgery Frontier, 13(1):46-51, 2006 (発行年月日)	肺癌の個別化治療	佐々木秀文	外科 (腫瘍・免疫外科学)
Lung Cancer Update, 27:7, 2006 (発行年月日)	日本人肺癌患者における EGFR と erbB2 突然変異状態	佐々木秀文	外科 (腫瘍・免疫外科学)
Lung Cancer, 54(1):103-108, 2006 (発行年月日)	L858R EGFR mutation status correlated with clinoco-pathological features of Japanese lung cancer	Sasaki H	外科 (腫瘍・免疫外科学)
Lung Cancer, 54(2):209-215, 2006 (発行年月日)	PIK3CA mutation status in Japanese lung cancer patients	Kawano O	外科 (腫瘍・免疫外科学)
Clin Lung Cancer, 7(6):412-416, 2006 (発行年月日)	Decreased fragile histidine triad gene messenger RNA expression in lung cancer	Sasaki H	外科 (腫瘍・免疫外科学)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属 部門
Clin Lung Cancer, 8(1):45-48, 2006 (発行 年 月 日)	Decreased kallikrein 11 messenger RNA expression in lung cancer	Sasaki H	外科 (腫瘍 ・免疫 外科学)
J Surg Res, 133(2):203-206, 2006 (発行 年 月 日)	Uncommon V599E BRAF mutations in Japanese patients with lung cancer	Sasaki H	外科 (腫瘍 ・免疫 外科学)
Oncol Rep, 16(3):533-541, 2006 (発 行 年 月 日)	Evaluation of the epidermal growth factor receptor gene mutation and copy number in non-small cell lung cancer with gefitinib therapy	Endo K	外科 (腫瘍 ・免疫 外科学)
頭 頸 部 癌 , 32(3):263-266, 2006 (発 行 年 月 日)	頸胸境界部の食道癌に対する手術－大網 を利用した縦隔気管瘻造設法－	桑原義之	外科 (腫瘍 ・免疫 外科学)
Ann Thorac Cardiovasc Surg, 12(2):81-82, 2006 (発行 年 月 日)	Endoscopic thoracic sympathectomy for palmar hyperhidrosis	Yano M	外科 (腫瘍 ・免疫 外科学)
Cancer, 106(9):1901-1907, 2006 (発行 年 月 日)	Preoperative steroid pulse therapy for invasive thymoma: clinical experience and mechanism of action	Kobayashi Y	外科 (腫瘍 ・免疫 外科学)
Jpn J Clin Oncol, 36(6):351-356, 2006 (発 行 年 月 日)	Expression and mutation statuses of epidermal growth factor receptor in thymic epithelial tumors	Suzuki E	外科 (腫瘍 ・免疫 外科学)
Jpn J Clin Oncol, 36:357-363, 2006 (発行 年 月 日)	Low expression of the Snail gene is a good prognostic factor in node-negative invasive ductal carcinomas.	Toyama T	外科 (腫瘍 ・免疫 外科学)